

追加オークション募集要綱等に関する意見募集結果について (対象実需給年度:2027年度)

2026年1月30日

容量市場の在り方等に関する検討会事務局※

※本検討会は、資源エネルギー庁と電力広域的運営推進機関の共同事務局により開催している。

1. はじめに
2. 募集要綱の意見募集の結果について
3. 意見募集を踏まえた対応について
4. 今後の予定

- 「容量市場追加オークション募集要綱（対象実需給年度:2027年度）」と「容量確保契約約款」の案について、意見募集を行った。（実施期間：2025年12月3日～12月16日）
- 本日は、意見募集の結果についてご報告する。

■ 容量市場追加オークション募集要綱（対象実需給年度：2027年度）と容量確保契約約款の2点を対象として、意見募集を実施した。

関連文書		概要	公表状況
容量市場募集要綱 ※1※2	容量市場メインオークション募集要綱	・メインオークションへ参加希望する電気供給事業者に対して求める条件や参加方法等を規定	2024～29年度向け 公表済
	容量市場追加オークション募集要綱	・追加オークションへ参加希望する電気供給事業者に対して求める条件や参加方法等を規定	2024～26年度向け 公表済 2027年度向け 公表予定
	長期脱炭素電源オークション募集要綱	・長期脱炭素電源オークションへ参加希望する電気供給事業者に対して求める条件や参加方法等を規定	2023～25年度応札 公表済
容量確保契約書 ※1※3	容量確保契約約款	・メインオークションおよび追加オークションにおける容量提供事業者に求められる要件、容量確保契約金額その他の契約条件を規定	公表済
	長期脱炭素電源オークション容量確保契約約款	・長期脱炭素電源オークションにおける容量提供事業者に求められる要件、容量確保契約金額その他の契約条件を規定	公表済
容量市場業務マニュアル ※1※2	メインオークション	参加登録・応札・容量確保契約書契約締結編	2024～29年度向け 公表済
		実需給前に実施すべき業務（全般）編	2024～28年度向け 公表済
		電源等差替編	2024～27年度向け 2028年度以降※3向け 公表済
		実効性テスト編	2024～27年度向け 公表済
		容量停止計画の調整業務編	2024～25年度向け 2026年度以降※3向け 公表済
		実需給期間中 リクワイアメント対応（安定電源）（変動電源（単独））（変動電源（アグリ））（発動指令電源）編	2024～26年度向け 公表済
		実需給期間中 ペナルティ・容量確保契約金額対応編	
		容量抛出金対応編	

※1：初回策定や大きな変更時は意見募集を実施 ※2：対象実需給年度毎に公表 ※3：対象実需給年度に依らず共通

(参考) 今回実施した意見募集の対象文書 (2/2)

関連文書		概要	公表状況
容量市場 業務マニュアル ※1※2	追加 オークション	参加登録・応札・ 容量確保契約書の締結編	2024～26年度向け 公表済
	長期脱炭素電源 オークション	参加登録・応札・ 容量確保契約書の締結編	2023～25年度応札 公表済
		電源等差替・市場退出・契約の変更 ・登録情報の変更業務編	公表済
		実需給期間前から発生する リクワイアメント対応編	
		ペナルティ・ 容量確保契約金額対応編	
		実需給期間中 リクワイアメント対応編	意見募集実施予定
		容量拠出金対応編	
容量市場 システム マニュアル※3	事業者情報・電源等情報登録 期待容量登録・応札・契約 電源等差替・実効性テスト ・容量停止計画・ アセスメント・ペナルティ・ 容量確保契約金額・支払・請求 編		公表済

※1：初回策定や大きな変更時は意見募集を実施 ※2：対象実需給年度毎に公表 ※3：対象実需給年度に依らず共通

第69回容量市場の
在り方等に関する検
討会資料より
(2025/11/27)

2. 追加オークション募集要綱案および約款案の主なポイント
主な反映事項

2025年度追加オークション（対象実需給年度:2026年度）からの変更点		反映箇所
25年度メイン オークションで 反映済	<p>発動指令電源の実効性達成率に応じた優先約定</p> <p>▶ 発動指令電源の導入上限にかかる課題、実効性テストの達成状況にかかる課題等に対応するにあたり、これまでの調達上限容量の仕組みを用いつつ、発動指令電源の同一価格札については、実効性達成率に応じた優先約定とする仕組みを適用する。</p>	<p>【募集要綱】 第6章1.落札電源の決定方法</p>

2. 募集要綱・約款の意見募集の結果について 意見提出の件数

- 意見募集に対して、**計3件（3者）の意見提出**があった。
（募集要綱：3件（3者）、約款：意見提出なし）
- 今回のご意見からは、**制度の変更や見直し行う内容はなかった**。ただし、ご意見から、募集要綱の記載をより明確化したほうがよい内容があったため、次ページ以降で紹介する。

2. 募集要綱・約款の意見募集の結果について

主なご意見と回答

■ 意見提出の際に、表現についての質問があったため、募集要綱の記載をより分かりやすく明確化する。

項目	ご意見	回答要旨
一地点 複数応札	「メインオークションにて安定電源での応札分が非落札となった場合、発動指令電源の1リソースとして電源等リストに登録することはできません」という一地点複数応札の <u>現在の募集要綱案の記載に関して、メインオークションで非落札ではなく、未応札であった場合のケースも含まれるか。</u>	<p>募集要綱案に記載の、「対象実需給年度2027年度のメインオークションにて安定電源での応札分が非落札となった場合」の内容は、<u>落札していない場合を説明していますので、未応札の場合も対象となります。</u></p> <p>したがって、<u>発動指令電源の1リソースとして電源等リストに登録することはできません。</u></p> <p>表現をより明確にする観点から、「安定電源での応札分が非落札となった場合には、<u>未応札の場合を含む</u>」旨を、<u>募集要綱に追記</u>いたします。</p>

3. 意見募集を踏まえた対応について

募集要綱・約款の反映内容

募集要綱：第7章 調達オークション契約条件 4.リクワイアメント・アセスメント・ペナルティ

<変更前>

4-1 実需給期間前

(1) リクワイアメント

略

ウ 電源等の区分が発動指令電源の場合

実需給期間前のリクワイアメントはありません。

なお、発動指令電源提供者は、本機関が指定する受付期間内に、電源等リストを提出してください。（当該電源等リストが対象実需給年度2027年向けの実効性テストを受けており、既に提出済の場合は、再度の提出は不要です。）

電源等リストに記載する項目は以下のとおりです。

※電源等リスト内のリソースを所有している事業者又は需要家と、電源等リストを登録する事業者が異なる場合は、電源等リストを登録する前までに当該電源所有者の合意を得てください。

※安定電源においては、アセスメント対象容量まで供給力を提供してもなお、需給ひっ迫時に当該容量を超えて発動指令電源として供給力を提供できる場合は、1計量単位にて安定電源に加えて、発動指令電源の1リソースとしても電源等リストに登録可能です。一方で、対象実需給年度2027年度のメインオークションにて安定電源での応札分が非落札となった場合、発動指令電源の1リソースとして電源等リストに登録することはできません。

※低圧需要家で需要抑制を行う場合で、需要抑制を行う地点での逆潮流も合わせて活用する場合は、下記bに定める項目も記載してください。

<変更後>

4-1 実需給期間前

(1) リクワイアメント

略

ウ 電源等の区分が発動指令電源の場合

実需給期間前のリクワイアメントはありません。

なお、発動指令電源提供者は、本機関が指定する受付期間内に、電源等リストを提出してください。（当該電源等リストが対象実需給年度2027年向けの実効性テストを受けており、既に提出済の場合は、再度の提出は不要です。）

電源等リストに記載する項目は以下のとおりです。

※電源等リスト内のリソースを所有している事業者又は需要家と、電源等リストを登録する事業者が異なる場合は、電源等リストを登録する前までに当該電源所有者の合意を得てください。

※安定電源においては、アセスメント対象容量まで供給力を提供してもなお、需給ひっ迫時に当該容量を超えて発動指令電源として供給力を提供できる場合は、1計量単位にて安定電源に加えて、発動指令電源の1リソースとしても電源等リストに登録可能です。一方で、対象実需給年度2027年度のメインオークションにて安定電源での応札分が非落札となった場合（未応札の場合も含む）、発動指令電源の1リソースとして電源等リストに登録することはできません。

※低圧需要家で需要抑制を行う場合で、需要抑制を行う地点での逆潮流も合わせて活用する場合は、下記bに定める項目も記載してください。

- 今回の意見募集の結果を反映し、意見募集に寄せられたご意見および本機関回答とともに、**追加オークションの募集要綱や約款**について、**2月初旬に公表を予定**している。
- 追加オークションの**事業者向け説明会**を**2月中旬に開催**し、周知を図っていく。
- 追加オークションの参加登録や応札等の手続きは、以下のスケジュールを予定している。
 - **事業者情報および電源等情報の登録受付を3月2日より開始**
 - **4月を目途に開催判断を実施**
 - オークション開催となった場合は、**応札期間を6月3日～15日**と設定
- 追加オークションの手続き等の一連の流れは、事業者向け説明会資料やマニュアル等に反映し、**広域機関HPにおいて資料提供や案内**を行っていく。

- 市場退出の手続き方法のうち、「容量確保契約の変更または解約」の確認期限日について、広域機関HPで今年度の日程の案内を実施した（今年度は、3月6日を期限日としてお知らせを発信）。

2026年3月6日
(金) 18時までに、
容量市場システムに
て市場退出の表明
を実施してください。

事業者へのお知らせ ・ 容量市場

容量市場からの市場退出の表明（実需給：2026年度・2027年度）及び供給力提供開始時期の変更（実需給：2027年度に影響を及ぼす変更）について

更新日：2025年11月19日

容量市場のメインオークション・追加オークションに係る市場退出の表明と長期脱炭素電源オークションに係る供給力提供開始時期の変更に必要な手続きについて、下記のとおりお知らせいたします。対象実需給年度に応じて、お早めのお手続きをお願いいたします。

1. メインオークション・追加オークション

1-1. 市場退出（実需給：2026年度）

実需給：2026年度については、市場退出時の経済的ペナルティの算定方法として容量確保契約約款第13条第1項②が適用となります。

[1] 容量市場システム上での市場退出表明

2025年12月25日（木）18時までに、容量市場システムにて市場退出の表明を実施してください。

[2] 市場退出表明書の提出

2026年1月19日（月）までに、押印済みの市場退出表明書を提出してください。

市場退出表明書の様式等については、[1]を実施された事業者様へ、広域機関から個別にご連絡しますので、お早めに[1]の手続きをお願いいたします。

1-2. 市場退出（実需給：2027年度）

実需給：2027年度については、容量確保契約約款第13条第1項に記載の通り、「追加オークションの実施判断に必要な容量確保契約の変更または解約の確認期限日」の翌日以降、経済的ペナルティの算定方法が変更となります。

[1] 容量市場システム上での市場退出表明

2026年3月6日（金）18時までに、容量市場システムにて市場退出の表明を実施してください。

この期日が「追加オークションの実施判断に必要な容量確保契約の変更または解約の確認期限日」となります。

[2] 市場退出表明書の提出

2026年3月27日（金）までに、押印済みの市場退出表明書を提出してください。

市場退出表明書の様式等については、[1]を実施された事業者様へ、広域機関から個別にご連絡しますので、お早めに[1]の手続きをお願いいたします。

それぞれの期日までに[1]・[2]の手続きが完了した電源等について、その後、市場退出が認められた場合※に、経済的ペナルティの算定方法として約款第13条第1項①が適用されます。

※市場退出の是非は、市場退出表明書の提出後に判断されますのでご注意ください。

2025年11月19日
本機関お知らせページより

